



基金165億円を くらし福祉に生かして

河合 克平議員

基金に依存した財政運営は大きな課題
総務部長

令和6年度 一般会計決算	基金積立金 残高	一人当たりの 基金残高
愛西市	160億8900万円	276,848円
津島市	50億700万円	85,929円
あま市	52億200万円	61,235円
弥富市	26億500万円	61,834円
大治町	16億1000万円	48,714円
稲沢市	157億3000万円	120,198円
蟹江町	30億5500万円	83,536円

▲令和6年度一般会計決算近隣自治体比較

問 愛西市の基金は、令和8年の3月31日現在165億9648万円、市民の生活に、暮らしに、また教育に生かしていく市政運営は。

答 基金に依存した財政運営は大きな課題。事業の見直しや重点化、効率化を進めるとともに、自主財源の確保に取り組む。

問 中学生の給食費の負担を増やすのは、愛知県内では愛西市と碧南市だ

問 子どもインフルエンザワクチン接種助成は実施予定はない。

答 学校給食無償化は、考えていない。

問 佐屋小学校老朽校舎の改築は。

答 開始年度の目標設定を見直す。

問 小学校体育館のエアコンの設置は。

答 整備する考えはない。

問 避難場所や児童クラブに利用できる可能性のある佐屋北保育園跡地を存続する考えは。

問 コミュニティセンターを存続する考えは。

答 廃止の方向性の見直しはない。具体的な手法、実施時期など決定していない。

問 避難場所や児童クラブに利用できる可能性のある佐屋北保育園跡地を存続する考えは。

答 跡地利用の民間事業者を選定する。

問 愛知県で3番目に高い国民健康保険税への繰入れを元に元に戻して負担軽減を。

答 繰入れは段階的に削減する。

問 介護保険料は基金活用して引下げを。

答 今後も負担軽減等に配慮し運営をする。

問 認知症予防になる補聴器購入助成は。

答 現時点で実施は考えてない。

問 功労者である高齢者の方への敬老祝い金、ダイヤモンド婚のお祝い復活を。

答 見直しは考えてない。

問 精神障害者入院医療費助成の復活を。

答 復活は考えてない。

問 在宅障害者扶助料を、元に戻す考えは。

答 見直し考えはない。

問 原水爆弾被爆者健康管理手当を元に戻す考えは。

答 見直し考えはない。

問 0歳から2歳児の保育料の値下げと18歳未満の多子世帯の支援を行う考えは。

答 行う予定はない。